

淡路島における樹木の地産地消プロジェクト ー集落・事業者・消費者をつなぐポータルサイトの構築ー

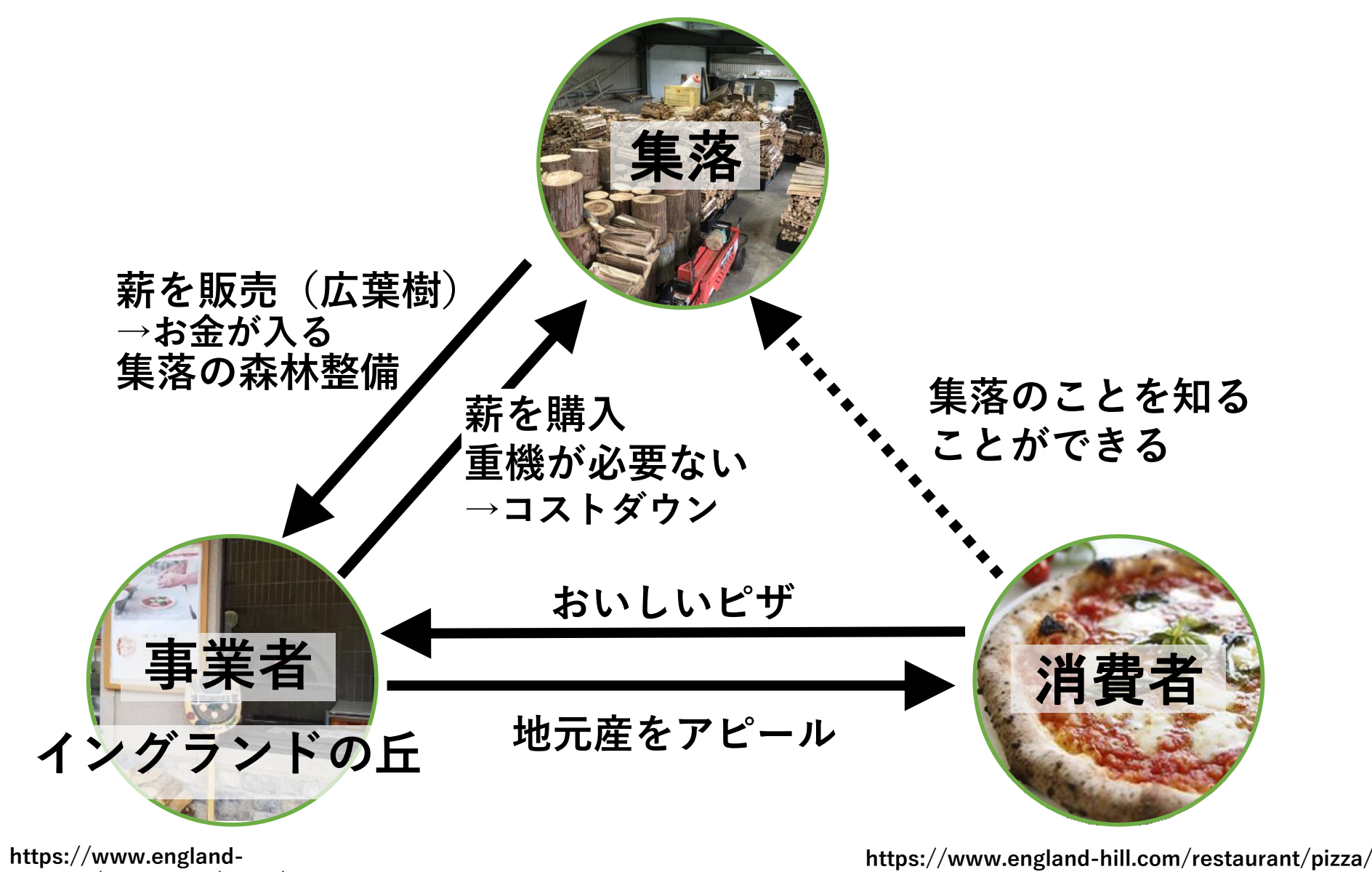
施策マネジメント領域
LM20L015 難波梨菜



【はじめに】

日本に植栽されたスギやヒノキの多くは樹齢50年を超え、伐採・利用する時期にきている。
林野庁：木づかい運動，木育，ウッドチェンジなどの取り組み→国産材の使用を強く進めている。
兵庫県：2017年に「兵庫県県産木材の利用促進に関する条例」が制定。
淡路島：兵庫県の「野生動物共生林整備事業」などを活用し，樹林地の間伐が行われている。

【八木馬回集落の例】



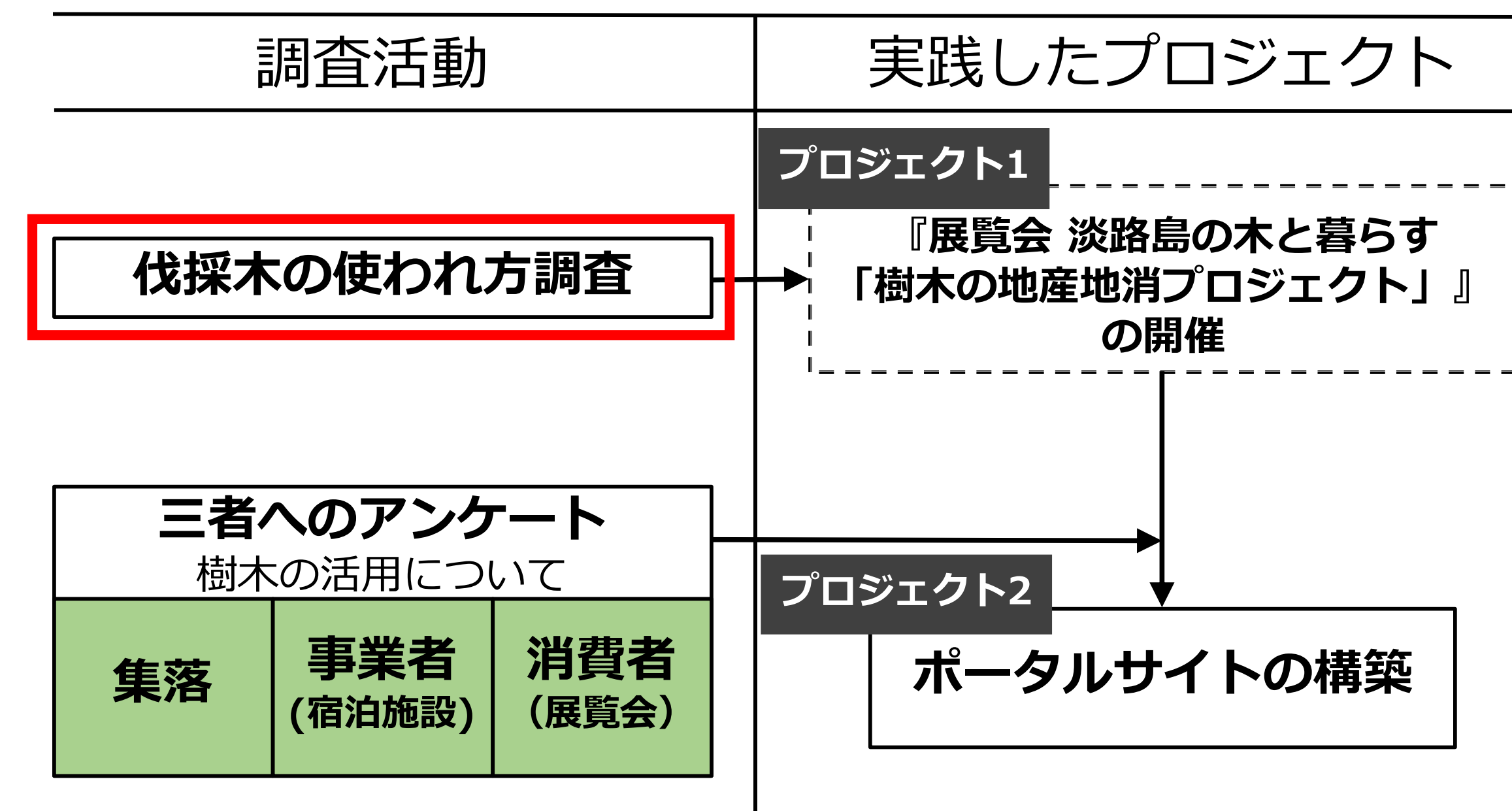
間伐材の活用を促進するため，南あわじ市八木馬回集落の取り組みに注目した。

本集落では，契約を結んでいる「淡路ファームパーク イングランドの丘」に対し，間伐した材を「薪」として販売し，園の中のピザ窯で使用されていた。

馬回集落は集落内のバッファゾーンの整備ができ，収入を得られ，イングランドの丘は重機を管理する費用がかからない，などのメリットがお互いにある。

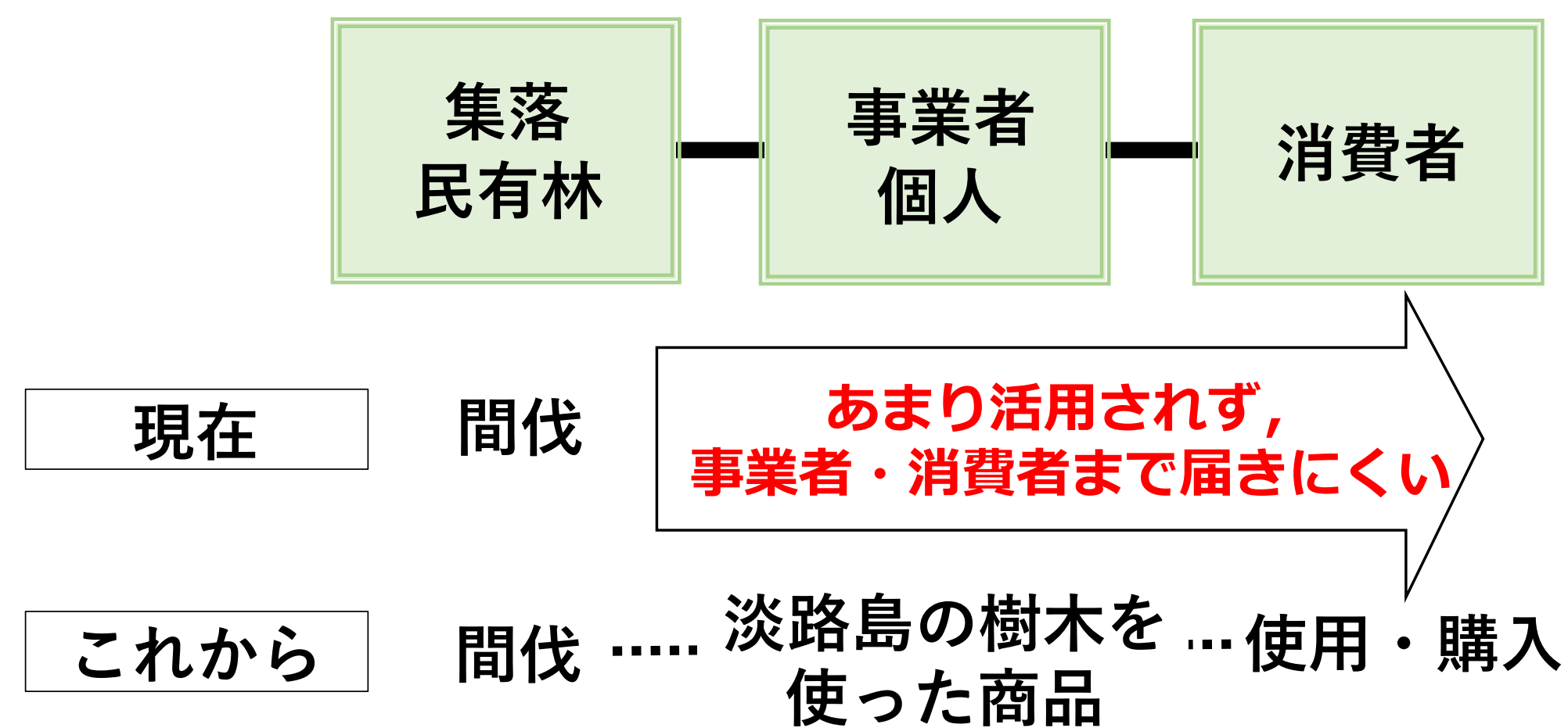
また，イングランドの丘は消費者に対し，地元の薪を使用していることをアピールでき，消費者は美味しいピザをを通して集落のことを知るきっかけにもなるのではないだろうか。

【本プロジェクトの流れ】



「伐採木の使われ方調査」の結果を踏まえ1つ目のプロジェクトである『展覧会』を開催した。また，調査，展覧会と並行して集落・事業者・消費者の「三者へのアンケート」を行った。そして，以上の結果を踏まえ，2つ目のプロジェクトである「ポータルサイトの構築」を行った。

【樹木の地産地消とは】



①集落・民有林，②事業者・個人，③消費者，の三者がいる。

<現状> 集落や民有林で間伐（伐採）が行われているが，これらはあまり活用されず事業者，消費者まで届きにくい。

<これから> 間伐した材が「淡路島の木を使いたい」という事業者・個人の方の手に渡り，淡路島の樹木を使った商品を作成する。その製品を「淡路島の木を使った製品が欲しい」という淡路島内の住民の方や淡路島に観光に来た方が使用・購入する一連の流れ。

【目的】

- ①淡路島における集落・事業者などの伐採木（間伐材）の活用実態を明らかにする
- ②展覧会やポータルサイトの構築を通じて「樹木の地産地消」を推進するための方策を考察する

【淡路島での伐採木の使われ方】

淡路島では伐採木がどのように使われているのかを把握すべく、 淡路県民局と3市（淡路市・洲本市・南あわじ市） へのヒアリングで紹介いただいた方と、 後述するアンケートで具体的な取り組みを記述された方を加えた20名の方々に対面や電話などでヒアリングを行った。

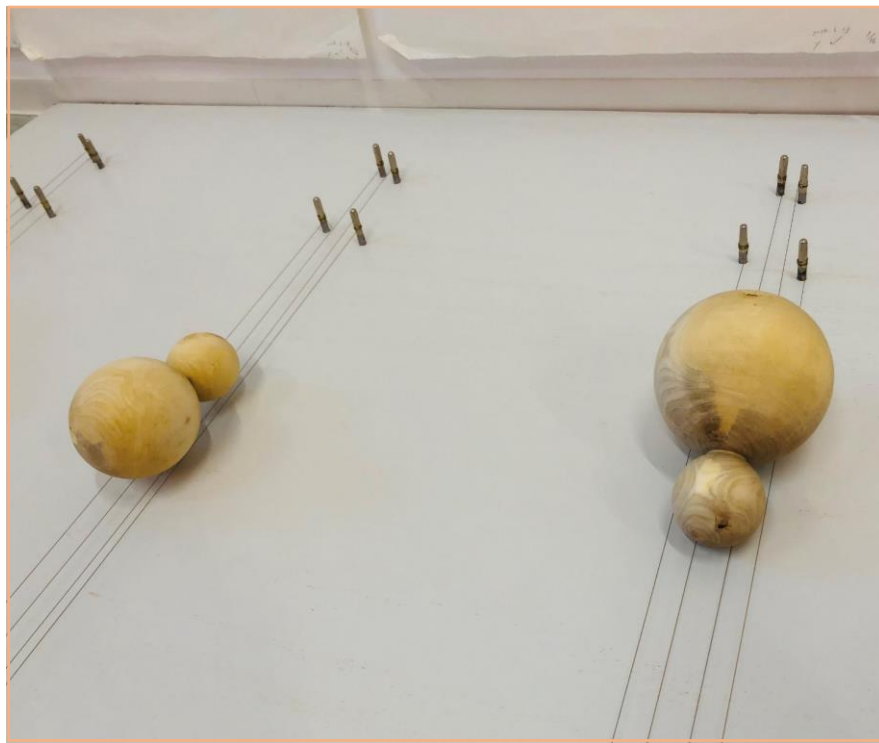
〈実施期間〉 2021年3月～2022年1月 〈内容〉 「取り組み内容」 「使われている樹種とそれを用いた理由」

結果、 以下の9種類の使われ方を確認できた。 () の数字は件数を示す。



薪 (7)

エノキ，ハンノキなどの広葉樹はあまり香りが出ないため，ピザの薪として使用している（馬回）
カシ，クヌギなどの広葉樹は火持ちが良い．木の種類によって火持ちが違い，薪ストーブのメーカー，家の構造によっても温かさが変わる（M氏）



芸術作品 (1)

庭木や果樹園などで利用されなくなった，伐採された樹木を提供してもらい活用している．
なるとオレンジの木を削ると黄色が表れ，美しく，作品に取り入れている．クスノキやヤマザクラから楽器を制作するなど試行錯誤しながら活動されている（N氏）



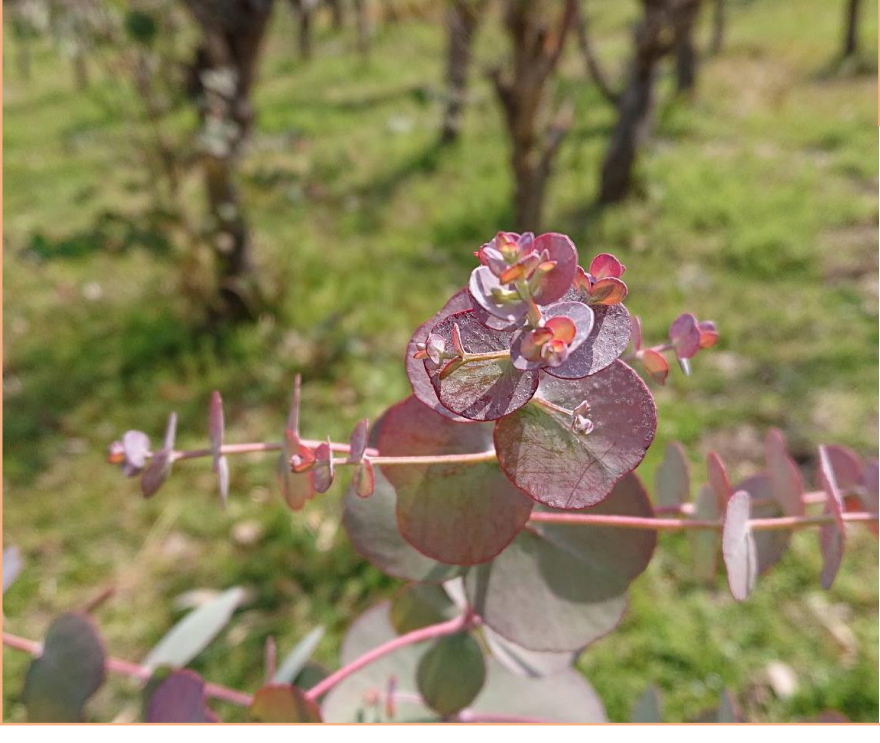
櫨木 (2)

広葉樹の中でも，菌が付きやすく，品質の良いシイタケを栽培することが出来ることから，クヌギやコナラを使用している．菌糸を張り，広がっていくようにする必要がある．所有している山にクヌギとコナラがあったため，やってみようと思った（竹原）



玩具 (3)

慶野松原（国指定の名勝）で老衰によって枯れた，樹齢200年のクロマツの倒木や伐採木を活用している．地元では「根上がり松」として親しまれている．
木の温もりを子どもたちに伝えたい．特に肥松は脂がのっていて美しい（Z氏）



ドライフラワー (1)

「淡路ファームパーク イングランドの丘」のコアラの餌として栽培している．コアラの個体の違いによって，ユーカリの好みが違う，9種類のユーカリを栽培．ユーカリの中で丸い葉の種類のものはドライフラワーとしても有用なので活用している（河内）



家具 (3)

ヤマザクラやモッコク，コナラなどを活用している．ヤマザクラの白太と赤身がきれいでそれを活かした椅子も作成．「山の環境整備をしたものを使いたい」「身近に育った樹々が椅子や日常の生活道具になることを知ってもらいたい」との思いから淡路島の木を使用（K氏）



鉛筆 (1)

淡路島のヒノキで作られており．無塗装仕上げになっている．鉛筆を削ると，ほのかにヒノキの香りがする．名刺代わりになるものを，と作成．淡路島の小学校に配布されることもあり，手に取りやすいものから木に興味を持ってもらいたい，との思いを持っている（団体J）



建築材 (1)

南あわじ市の賀集鍛冶屋に位置する槌賀家住宅．南あわじ市の典型的な大規模農家の様子を伝えている（主屋，長屋門，蔵，新座敷などが建つ）．ひょうごへりテージ機構淡路，淡路地方史研究会によって調査されている．いくつかの梁や柱に地元のマツが使われている（T氏）



食器 (1)

樹種は特に選んでなく，入手できたものから大きさ，木目，木味などを見ながら使っている（基本的に板にして乾燥させればどれも使える）．樹種としては，モミ，モッコク，ノグルミ，イチョウ，ヤマモモ，コナラ，クヌギ...ほか，レモンなどの果樹も使える（K氏）

1つ目のプロジェクト
『**展覧会 淡路島の木と暮らす**
「樹木の地産地消プロジェクト」』の開催

プロジェクト1

『展覧会 淡路島の木と暮らす「樹木の地産地消プロジェクト」』

展覧会
淡路島の木と暮らす
「樹木の地産地消プロジェクト」

椅子、楽器、おもちゃ、薪などを展示予定。

樹木は成長するため、間伐や伐採などの管理を行う必要があります。
木でできた製品を知る・使うことは淡路島の森を守ることにつながります。
淡路島在住の方による淡路島の樹木で作られた作品の展覧会です。

2021年11/16(火)～11/29(月)
津名図書館
住所：兵庫県淡路市志筑新島5-4

2021年12/1(水)～12/8(水)
東浦図書館
住所：兵庫県淡路市浦148-1

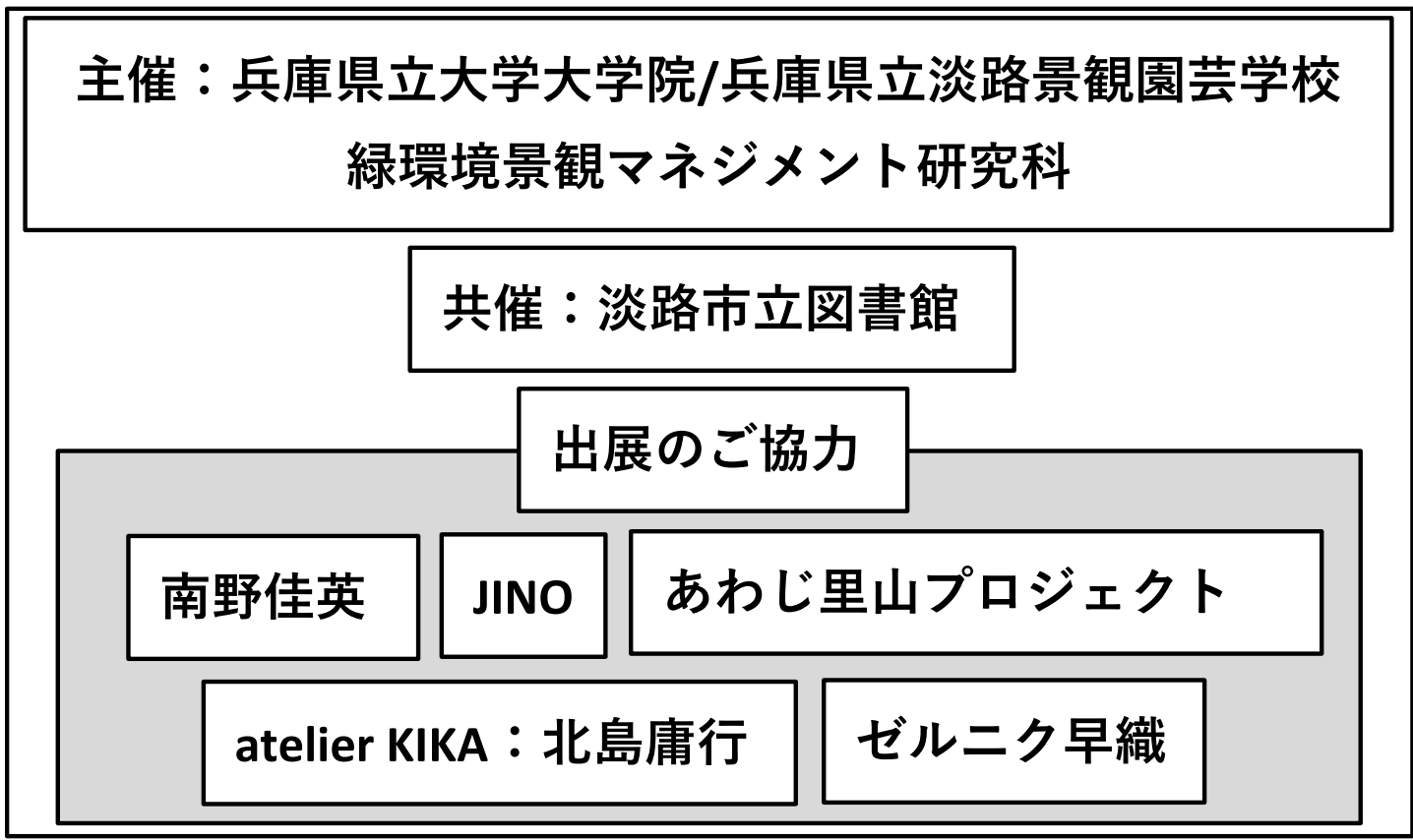
※図書館の開館時間に合わせて開催（木曜日が休館日）
11/24(水)も休館日です。
無料でご覧いただけます。

修士研究の一環としての展示です。
ご質問がある方、淡路島の樹木についての知識がある方、ぜひご連絡ください。
兵庫県立淡路景観園芸学校/兵庫県立大学大学院 緑環境景観マネジメント研究科2系 緑環境系
mail: rina_namba@awaji.ac.jp

主催：兵庫県立淡路景観園芸学校/
兵庫県立大学大学院 緑環境景観マネジメント研究科
共催：淡路市立図書館
※JINO、北島庸行様、南野佳英様、
あわじ里山プロジェクト、ゼルニク早織様に、
出展のご協力をいただきました。



【プロジェクトの体制】



筆者は、展覧会の主催者として、展覧会の企画、淡路市立図書館の司書さんとの打ち合わせ、出展者への交渉・打ち合わせ、展覧会期間中の作品の責任者、広報などを担った。

筆者のFacebook→

Rina Namba
2021年11月8日

【樹木の地産地消プロジェクト】
*修士論文の一貫で淡路島の図書館で展覧会をします！
展覧会当日まで作家さんについて、淡路島の樹木について少し告知します。

こちらは、慶野松原（南あわじ市）のクロマツから作られたおもちゃです。
慶野松原は国の名勝地にも指定されており景色も美しいです。
大きくなったり、倒れたりしたクロマツから作られたおもちゃ、精巧に作られています！

展覧会
2021/11/16～11/29 津名図書館（淡路市）
2021/12/1～12/8 東浦図書館（淡路市）
*図書館の開館時間に合わせて開催。木曜日は休館。
土日・祝日は私が滞在し、一部の展示に触ることができます！



↓筆者のInstagram



namba_rina 【樹木の地産地消プロジェクト】
*修士論文の一貫で淡路島の図書館で展覧会をします！
展覧会当日まで作家さんについて、淡路島の樹木について少し告知します。

兵庫県洲本市で活動されている辻さんです。クヌギやウバメガシ、モチノキなど数種類の薪を展示します！
森林整備や竹林整備など積極的に取り組まれています。
辻さんからお借りした写真（1枚目）、薪がきれいに並んでいて素敵ですね😊
図書館では薪に触れることもできるので、樹種ごとの違いを感じながらご覧いただけます！

展覧会
2021/11/16～11/29 津名図書館（淡路市）
2021/12/1～12/8 東浦図書館（淡路市）
*図書館の開館時間に合わせて開催。木曜日は休館。
土日・祝日は私が滞在し、一部の展示に触ることができます！

12部開館

【展覧会の目的】

- ①淡路島の樹木を使った製品に消費者の方々が興味を持ってもらうこと
- ②選択的にそれらを消費する意欲を喚起すること

全体図



南野佳英：なんとオレンジで作られた作品



北島庸行（atelier KIKI）：ヤマザクラ、モッコク、コナラで作られた椅子



あわじ里山プロジェクト：クヌギ、モチノキ、ハゼノキなど9種類の薪

キャプション

あわじ里山プロジェクト
兵庫県洲本市を中心に活動、森林整備だけでなく、淡路島で拡大している竹林問題にも取り組みまわっています。
お借りした写真、びっしりと薪が並んでいる様子が素敵です！
ウバメガシやクヌギ、ユーカリなど何種類もの樹木を展示しています。ぜひ、お手にとって樹木ごとの違いを感じてください。（お手にとった薪は元の場所に戻してください）



タグ（樹種名）

モチノキ

ウバメガシ





JINO：ヒノキの鉛筆やシイの木皿などの食器類や玩具

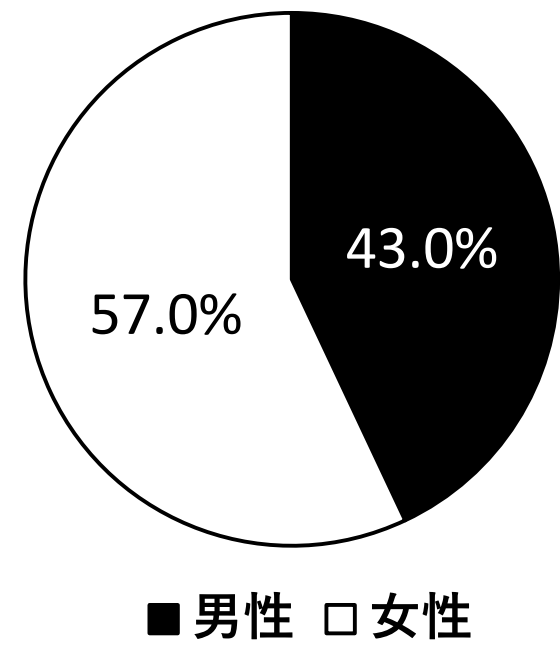


ゼルニク早織：慶野松原のクロマツを使用した玩具

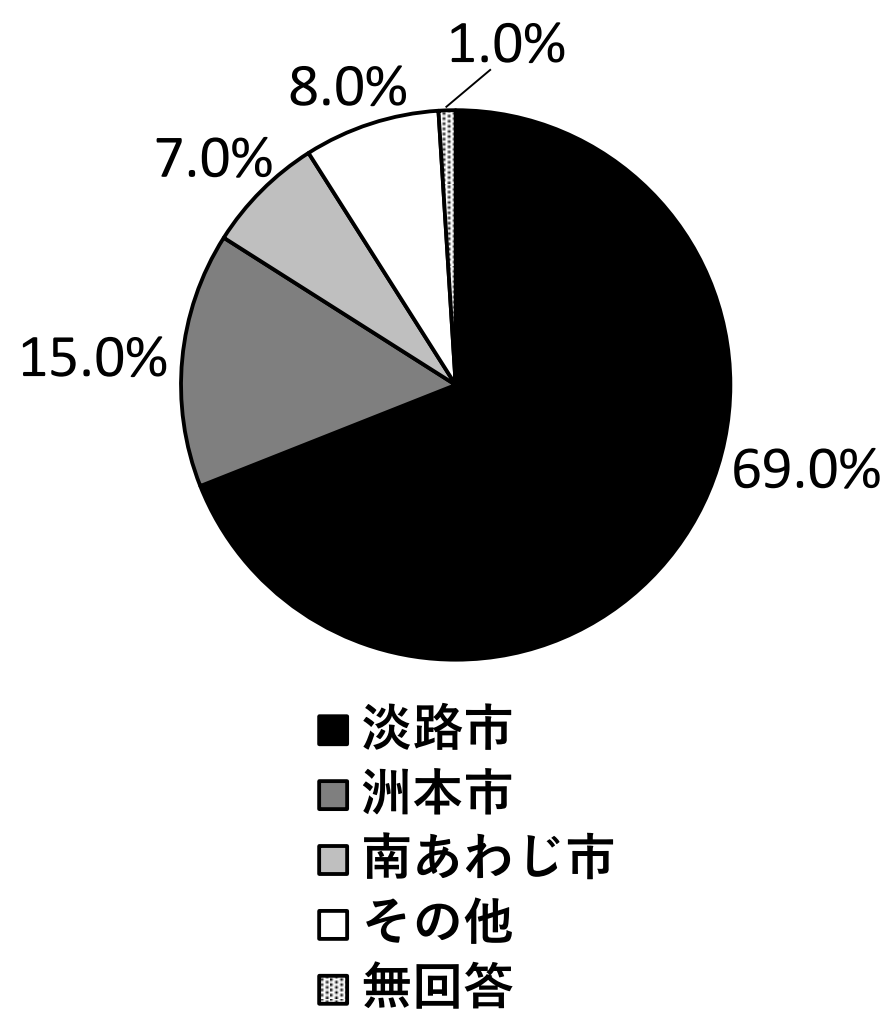


【プロジェクト1の評価】

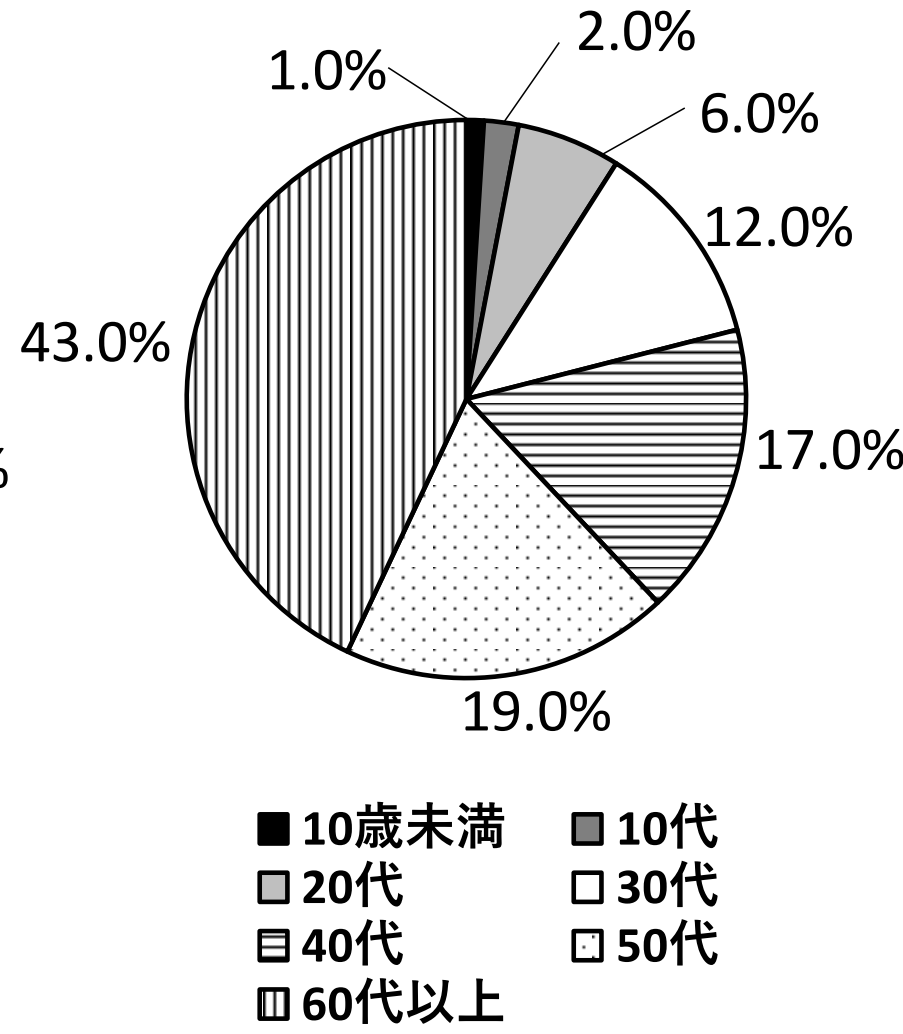
〈性別〉 n=100



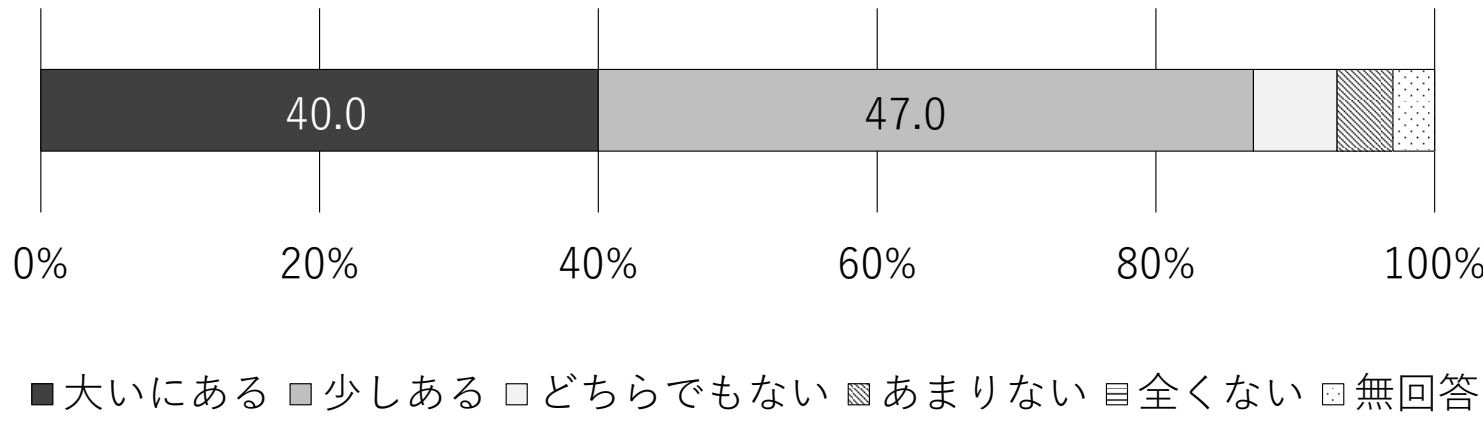
〈居住地〉 n=100



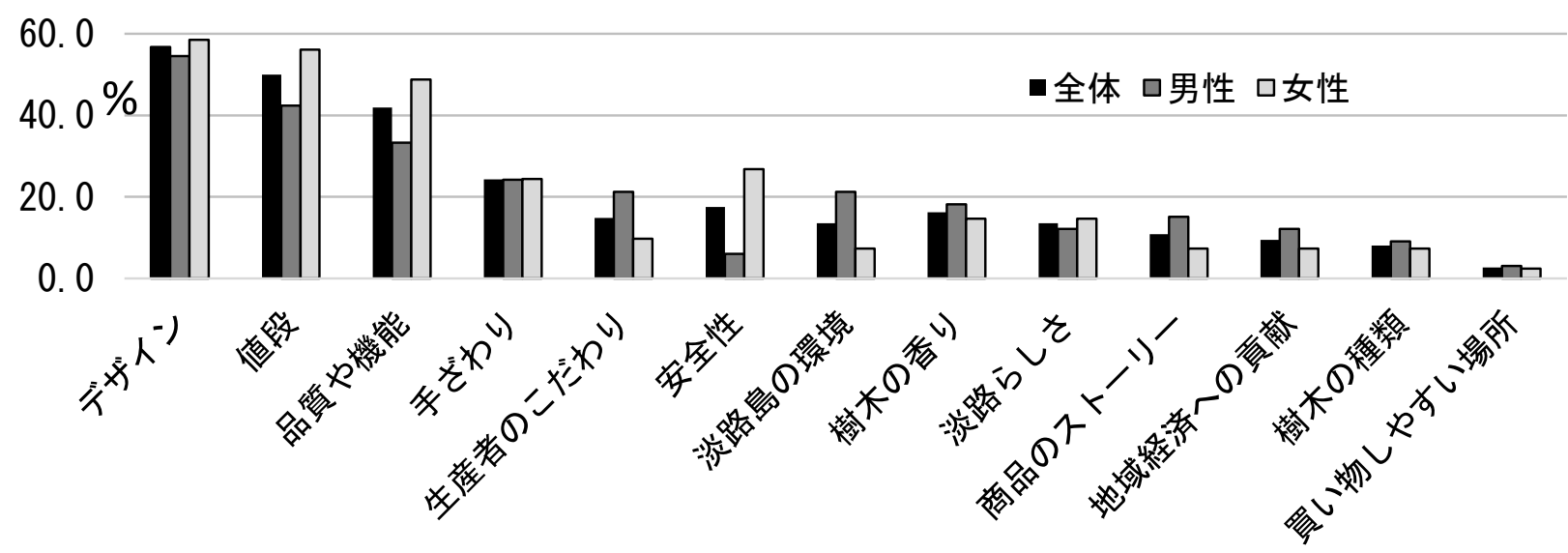
〈年代〉 n=100



〈木の活用に興味があるか〉 n=100



〈木の製品を購入する際に留意する点〉 n=100



本展覧会は、両図書館ともに入口部で実施したため、期間中の図書の貸出来館者数2,273名以上に展示を見ていただくことができた。またその内、100名を対象にアンケートを実施し、展示についての評価を得た。
○性別は「男性」が43名、「女性」が57名とほぼ同数、居住地は「淡路市」からの来場者が最も多く69名だった。
年代は「50代」が19名、「60代以上」が43名と、50代以上の方が6割以上を占めた。
○木の活用に対する興味をとらえると、「大いにある」が40名、「少しある」が47名と87名の来場者の方が興味を持つ結果となり、本展覧会の1つ目の目的を達成することができた。
○来場者が購入に際して留意する点をみると、「デザイン」が58%、「値段」が46.9%、「品質や機能」が39.1%と高く、「生産者のこだわり」が20.3%、「淡路島の環境」が15.6%など、展覧会で重視した点が一様に低かった。

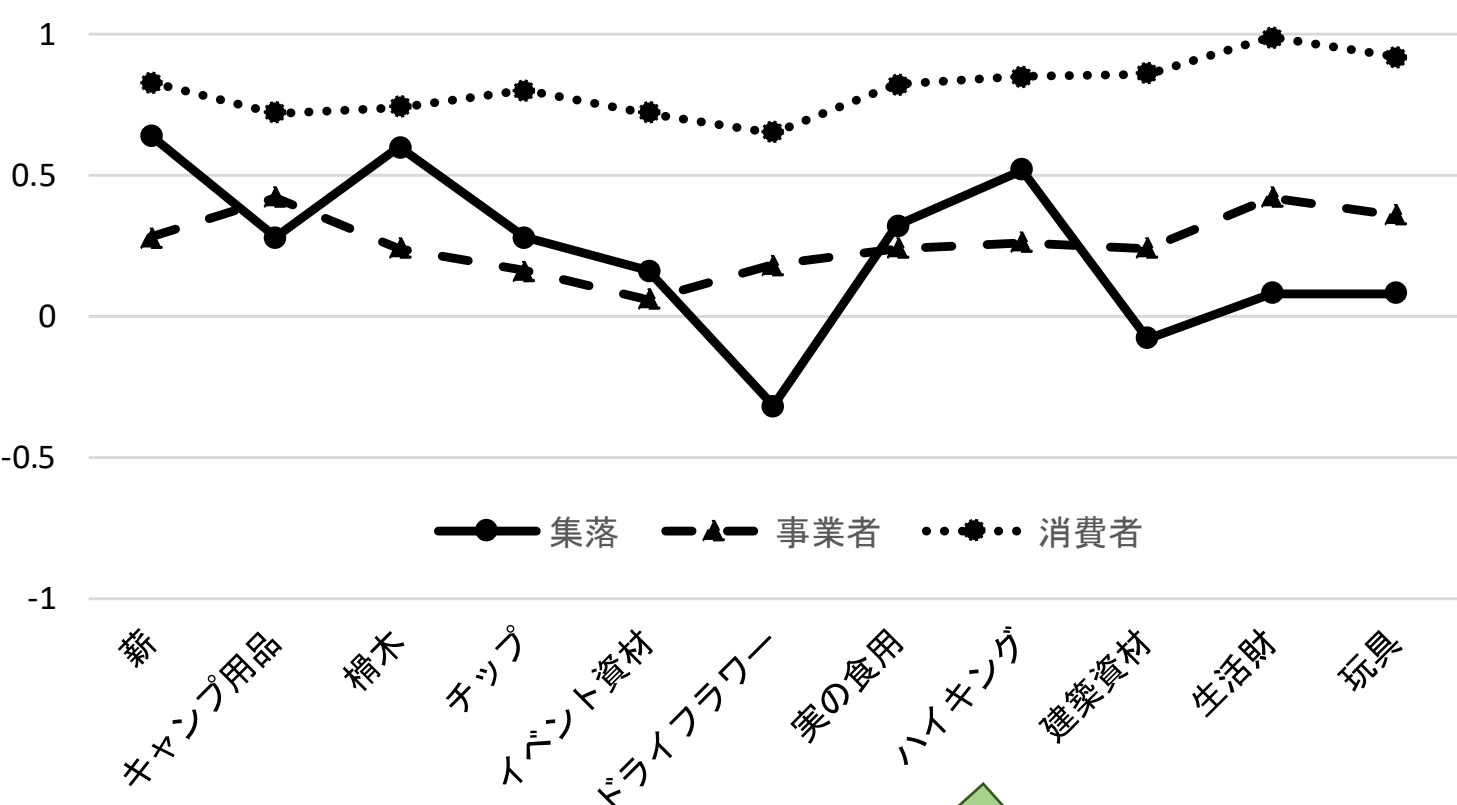
【三者へのアンケート調査】

展覧会から、来場者（消費者）は“樹木の活用に興味はあるが消費については不透明”とのが明らかとなった。また、先進事例調査で集落や事業者からも「伐採木をどのように確保するか」などの課題が聞かれた。
よって、集落、事業者、消費者の興味や課題をより詳細に分析し、三者がwin-winな関係になるための方策を検討することとした。

三者の興味や課題を把握すべく、アンケート調査を実施した。
実施期間は以下の通りである。
『集落』
2021年8月24日～2022年1月13日
(有効回答数：25件/47件)
『事業者』
2021年11月19日～2022年1月24日
(有効回答数：50件/154件)

『消費者』
展覧会と兼ねて実施
(有効回答数：100件/100件)

〈木の活用方法に対する興味の度合い〉



『集落』：「薪」や「桧木」など、加工の簡単な項目が高い。
『事業者』：施設によって興味の度合いが極端に違い、平均すると全体的に低い。
『消費者』：すべての項目について他の二者より興味が高い

【興味の度合いの因子分析】

集落 (N=25)			
項目	Factor1	Factor2	共通性
軸の解釈	複雑な加工	容易な加工	
玩具	0.950	0.077	0.924
生活財	0.837	0.005	0.706
イベント資材	0.767	-0.065	0.581
ドライフラワー	0.660	-0.084	0.430
建築資材	0.048	0.863	0.757
キャンプ用品	-0.033	0.798	0.632
桧木	-0.060	0.749	0.554
薪	『容易な加工』		
チップ	『容易な加工』		
ハイキング	『森林体験』		
実の食用	『森林体験』		
因子寄与	2.632	1.960	
α係数	0.873	0.841	

→切り出した木材の加工の仕方に目を向けている

事業者 (N=50)				
項目	Factor1	Factor2	Factor3	共通性
軸の解釈	食体験	木のある空間	森林体験	
薪	0.806	0.016	0.113	0.805
キャンプ用品	0.692	0.258	-0.081	0.755
実の食用	0.689	0.258	-0.081	0.705
桧木	0.556	0.136	0.233	0.702
生活財	0.295	0.861	-0.236	0.913
玩具	-0.219	0.829	0.114	0.687
ドライフラワー	0.199	0.593	0.114	0.687
建築資材	0.234	0.592	0.047	0.656
イベント資材	0.058	0.082	0.765	0.736
ハイキング	0.390	-0.189	0.700	0.574
チップ	0.390	-0.189	0.601	0.618
因子寄与	2.299	2.280	1.693	
α係数	0.914	0.909	0.829	

→体験を通じた樹木との接触を期待していることがうかがえる

消費者 (N=100)				
項目	Factor1	Factor2	Factor3	共通性
軸の解釈	木のある空間	加工体験	野外体験	
ハイキング	0.904	-0.092	-0.051	0.660
建築資材	0.812	0.097	0.110	0.687
チップ	0.589	0.418	-0.065	0.734
生活財	0.569	0.418	-0.065	0.734
玩具	0.521	0.408	-0.056	0.656
ドライフラワー	-0.123	0.739	0.019	0.455
実の食用	-0.101	0.724	0.019	0.455
イベント資材	0.198	0.614	-0.007	0.571
キャンプ用品	0.103	-0.081	0.730	0.573
桧木	0.048	-0.081	0.681	0.544
薪	-0.083	0.395	0.499	0.543
因子寄与	2.501	2.001	1.447	
α係数	0.893	0.729	0.763	

→体験サービスに目を向けていることがうかがえる

2つ目のプロジェクト『ポータルサイトの構築』

『ポータルサイトの構築』

【集落・事業者・消費者が抱える課題】

淡路島の木で出来た製品の購入(16)	
・淡路島の木で出来た製品を知りたい、見てみたい。 ・気軽に購入できる場所を知りたい。探しやすい環境。	
木の製品についてのPR(3)	
・淡路島産の木を取り扱う企業や店舗，宿泊施設をPRして欲しい。	
人材派遣・育成(3)	
・指導できる人がいたら教えて欲しい（樹木管理・乾燥の仕方，ドライフラワー・草木染めの作り方などの樹木の活用方法など）。 ・高校生や大学生との連携や協働が出来るとありがたい。	
補助金などの情報提供(3)	
・企画・補助金・コミュニティ参画等の情報共有や発信。 ・補助金の情報を知っている人に偏りがある。	
樹林地の管理について(7)	
・昔と比べると山の環境が悪化している。山の環境を整えた方がよい。	
流通(5)	製材所(3)
・流通が安定しない。 ・どこにどんな樹木が生育しているのか分からない。	・まちの製材所が欲しい。 ・製材する人の高齢化。

主に7つの課題があることが分かった。
課題を解決するため、ポータルサイトの構築に取り組んだ。

▼

【ポータルサイトの制作方針】
(1) 樹林地を有する「集落」と加工が可能な方々とのマッチングが必要 →淡路島を拠点に活動している木工職人， 美術家などの紹介
(2) 消費者らに体験イベントが必要 →淡路島で開催予定のワークショップや体験イベントを紹介
(3) 淡路島の木を扱う企業や宿泊施設を紹介して欲しい →淡路島の木を扱っている企業や宿泊施設の紹介
(4) 気軽に購入できる場所を知りたい →淡路島の木の商品を購入できるお店の紹介
(5) 補助金の情報を教えて欲しい →行政が出している森林関係の補助金や助成金の情報提供

〈淡路島の木を使いこなす「職人たち」の紹介〉

	
南野 佳英 淡路島を拠点に活動。美術家。 楽器などの芸術作品を作っています。 「活用せずに捨てられている樹々がたくさんあります。それらを活かせるのであれば、作品に変えていきたいです。木から生まれるつながりを大切に作品をつくっています」	atelier KIKa (北島 庸行) 淡路島を拠点に活動。木工家。 家具などの生活財を主に制作しています。 「山の環境整備をしたものを使いたい」という思いから淡路島の木を使い始め「身近に育った樹々が椅子や日常の生活道具の材料になることを広く見て知ってもらいたい」
京都市立芸術大学美術学部彫刻科卒業。インド国立ヴィシュバ・バラティ大学芸術学部彫刻コース修了。バルセロナ(スペイン)、シャンティニクタン(インド)、ベルリン(ドイツ)等の滞在を経て2011年より淡路島へ。芸術と文化の活動拠点ノマド村で2011年～2021年まで活動。美術家として個展を開催。淡路島では、島の木をつかった作品制作を通じて森づくりの活動を行なっている。	1989年 武蔵野美術大学 工芸工業デザイン科インダストリアルデザイン専攻卒業後、株式会社松山入社 家具内装デザインの業務に就く。1991年 ドイツプレマーハーフェン駐在ヴァーリングス社(家具メーカー) に出向勤務などを経て、1997年 兵庫県篠山市にてatelier KIKa (アトリエ・キカ) 開設。2001年 淡路島に住居、工房を移転。

〈淡路島の木につつまれる宿泊施設の紹介〉

AMA Terrasse	草地家
	
裏山のあるゲストハウスです。地元の木のいろんな使い方を楽しんでもらえたら嬉しいです。 2022年春頃の宿泊のお客様向けに、焚火、薪風呂などの準備を行っている最中だそうです。	裏山はすぐそこにあって、季節の移ろいがあり、様々な植物たちが芽を出し花をつけ、実をつけます。 私たちは時に観察し、触れて、味わい、暮らしの中で利用する。
〒656-0543 兵庫県南あわじ市阿万塩屋町565-2	〒656-0161 兵庫県南あわじ市後文土井790

〈木の活用に関する補助金の紹介〉

兵庫県が行っている補助金について
兵庫県は、「県民緑税」など全国に先駆けて森林に対する補助金や取り組みを多く行っている県の一つです。 こちらは、補助金についてまとめているページです。
【引用：兵庫県HP】 ○県民緑税 《お問い合わせ：農政環境部農林水産局豊かな森づくり課》 ○森林林業緊急整備事業 《お問い合わせ：農政環境部農林水産局林務課》 ○森林環境保全直接支援事業 《お問い合わせ：農政環境部農林水産局林務課》
【兵庫県森林組合連合会】 ○森林・山林多面的機能発揮対策交付金 《お問い合わせ：兵庫県森林組合連合会》 →林野庁のHP

〈淡路島の木で出来た製品の紹介〉

淡路島の木でできた製品	
こちらでは、「淡路島の木」でできた製品を紹介します。 気になったもの、欲しい!と思ったものは、製作者にご一報ください。	
	【八木馬回集落（代表：水田泰善）】 薪を販売しています。ピザなど薪りを敬遠される用途の際には、エノキやハンノキなどの広葉樹を提供しています。キャンプ場での焚火や薪ストーブなどでの利用に際しては、クスノキやウバメガシ、クヌギ、モチノキなど燃焼時間の長い広葉樹を提供しています。
	【atelier KIKa（代表：北島庸行）】 淡路島の木を用いた家具を販売しています。ヤマザクラやモッコク、コナラなどを活用、特にヤマザクラの白太と赤身が美しく、それを活かした椅子を制作するなど、木の特性を活かして制作しています。

〈ワークショップなどの体験イベントの紹介〉

ワークショップ&イベント

～木工体験、”淡路島の樹木”をつかう体験や鑑賞のご案内～

- 木のワークショップに参加したい方
- 地元、淡路島の木の利用に興味がある方
- 実際に木の製品を作ってみたい方・・・

淡路島で行われる樹木の活用ワークショップやイベントをご案内します！
また、開催が終わったイベントについてはレポートもあります。ぜひ、開催レポートも覗いてみてください！

～淡路島の木で板皿を作る～



※行っておりません。イメージです。

【日時】 11月20日(土)、21日(日)
【受付】 事前に予約→予約フォームはこちら
【所要時間】 約30分
【金額】 3,850円～
※選ぶ木の種類によって値段が変わります。
【講師】 北島庸行氏 (atelier KIKa)

【おわりに】

今回の実践演習を通して、私は樹木の地産地消を推進するために、 展覧会を実施したりポータルサイトを構築したりした。
その中でやはり集落，事業者，消費者をつなぐ**樹木コーディネーターが必要**だと感じた。
展覧会では多くの方々に淡路島の木を用いた製品や活動家の方々を知っていただけたが、体験型のプログラムも今後は検討していきたい。